完封コールド快勝

為櫻新聞

２０１８年（平成３０年）
７月14日
土曜日

発行所
茨城県立下妻第一高等学校
新聞部
発行人　吉田俊則
編集人　岩田純弥

号外

被３安打無失点で抑え勝利に貢献した加藤投手＝塚越普撮影

土浦二	０００	０００	０	０
下妻一	１００	１１０	４×	７

（７回コールド）

７回裏、大谷が放ったタイムリーで久保谷（右）が生還しコールドが成立した＝塚越普撮影

14日、下妻第一高校（下高）と土浦第二高校（土浦二）の試合がJ:COMスタジアム土浦で行われ、7対0で下高が7回にコールドで勝利した。

下高は試合を通して10安打の猛攻で毎回チャンスをつくり、さらに土浦二がエラーを重ねたことで、堅実に得点を追加していった。また、守備では4回を左フライと二ゴロで3球で終わらせるなど加藤孝太郎投手（2年2組）中心の堅い守りで土浦二を3安打無失点におさえた。

そして迎えた7回、秋葉涼太選手（3年4組）のタイムリー二塁打を皮切りに、その後下高は続けざまにタイムリーヒットを放って、この回4点を得て7点差となりコールド勝ちが成立した。

●三回戦　水城高校と対戦

同日、ノーブルホームスタジアム水戸で行われた水戸第一高校と水城高校の試合は9対2で水城が勝利し、17日下高と対戦することが決まった。水城高校は夏の予選で3年連続でベスト8入りを果たしている実力校だ。試合会場と試合時間は後日発表される。

（岩田純弥）